

下請化によって直轄工の配置替えが強行されようとしている三川鉦の原動機修繕場

三川鉦関係  
 (1) 修繕場のチエックマン 四人  
 作業内容  
 (イ) 坑外揚げ機械のチエック  
 (ロ) 修理内容のチエック  
 (ハ) 修理機材の試運転立ち合い  
 (ニ) 坑内降下機材のチエック  
 (ホ) 女性(三人)の作業内容  
 (ヘ) 木片回収  
 (コ) 小物品の回収手入れ  
 (カ) 標識などの塗装  
 (キ) 転搬希望受け入れ職場  
 (ク) 炭 務 七人  
 (ケ) 浴 場 二人  
 (コ) 安全灯 一人  
 (4) 炭車修繕場については当初の提案を撤回したい。  
 (四山関係)  
 (1) 電気修繕チエックマン 二人  
 作業内容は三川と同様

# 坑外修繕工場の下請化問題

## 労働条件の維持向上を

### 会社は誠意をもって応えよ

七月六日に会社から提案されていた四山鉦と三川鉦の坑外修繕工場の下請化問題については三池労組では、この提案は労働者が長い間勤めてきた職場を奪い、低賃金を押しつけ、生活と権利を奪う減量合理化として反対の立場を明らかにしてきましたが、七月二十四日会社に対して要求書を提出、さらに八月十四日第三回の団体交渉を開きました。この中で修正提案を含む会社の態度が示され、これを受けて八月二十七日委員会が今後の具体的な対応を決定しました。

#### 組合の要求

- 一、直轄工の職場を奪う下請化には反対である。
- 二、提案内容は不鮮明であり、明確な再提案を行うこと。
- 三、直轄工の取り扱いについては現行通りとする。
- 四、直轄工と下請工との混合作業を解消するために、下請工を直轄採用すること。
- 五、その他

#### 会社の回答

- 一、長年働いた職場の実態はよくわかるが、会社のおかれている現状と立場を理解願いたい。
- 二、人員・作業内容は次の通り。  
(三池労組分)

(三川関係)  
 (1) 修繕場のチエックマン 四人  
 作業内容  
 (イ) 坑外揚げ機械のチエック  
 (ロ) 修理内容のチエック  
 (ハ) 修理機材の試運転立ち合い  
 (ニ) 坑内降下機材のチエック  
 (ホ) 女性(三人)の作業内容  
 (ヘ) 木片回収  
 (コ) 小物品の回収手入れ  
 (カ) 標識などの塗装  
 (キ) 転搬希望受け入れ職場  
 (ク) 炭 務 七人  
 (ケ) 浴 場 二人  
 (コ) 安全灯 一人  
 (4) 炭車修繕場については当初の提案を撤回したい。  
 (四山関係)  
 (1) 電気修繕チエックマン 二人  
 作業内容は三川と同様

## 炭労保安調査団が入山

炭労は各炭鉱の保安状況を把握し、保安確保の具体的な推進のために八月下旬から九月上旬に地執行部とともに点検調査を実施します。

炭坑は各炭鉱の保安状況を把握し、保安確保の具体的な推進のために八月下旬から九月上旬に地執行部とともに点検調査を実施します。

から質問、追及をした結果明らかになった諸問題。  
 一、女性の転職希望について  
 ※窓口で話し合いたい。  
 二、受け入れ数以上の転職希望について  
 ※提案通りとした。  
 三、チエックマンの労働条件と転職希望について  
 ※窓口で話めたい。

### たたかひの経過

現在までの団体交渉経過はおおむね以上の通りですが、会社側は実施時期を九月はじめからとし、すでに新労組が了解し転職希望も終わっている状況の中で早期に解決したいとの姿勢で臨んできました。

### 今後の取り組み

会社の減量合理化について反対の立場であることは明らかですが、今回のたたかひの推移を検討し、機関の承認を得て今後は本人の希望を最大限にいかし、労働条件の維持向上を実現することを前提に、当該分会との意思統一をはかりながら具体的に対応していくことになりそうです。

## 代替バスを運行 通勤電車廃止で対応

利用者の大幅減少と経費削減を理由に、会社は昨年十一月通勤電車の全面廃止を提案してきました。有明鉱大災害の発生などで交通は一時中断していましたが、その後再提案の中で当初予定していた廃止時期を十月一日からとし、さらに要求を受け入れる形で通勤バスを二年間限って配車するなど提案し、その後バス停や運行ダイヤなどについて交渉が進められてきました。

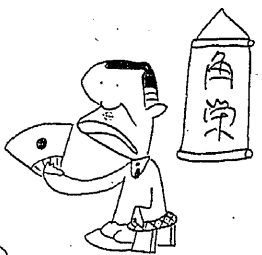
## 犠牲を強要するな 宮内社宅の撤去で

硬捨て用地を確保するために宮内社宅を九月末までに全面撤去し、たいと昨年から会社提案に対し、三池労組は労働者に犠牲を強要する減量合理化として、

- 1、社宅居住者の要求の実現
- 2、転居諸条件の大幅引き上げ
- 3、硬捨て場の安全性の確保
- 4、タンク輸送の安全対策
- 5、周辺居住者の安全確保
- 6、恒久的な硬捨て場の確保

などを要求してたたかひしてきましたが、会社はある程度譲歩したものの提案通り実施する構えです。三池労組としては、あくまで居住者の要求実現と当面社宅浴場の継続、その他を含む交渉を続けることにも、戦術を含む今後の対応をすすめることにしています。

## はたらくの気楽台



再選なるか  
 「ただいま中曾根さんがみえました」  
 「これへ通せ」

## 全斗煥来日

中曾根首相が昨年一月に韓国を訪問して全斗煥と「新次元の日韓関係」をうたいあげ、これが事実上の日韓軍事同盟の形成を意味することは疑いありません。

## 「韓国」

大韓民国の略称。一九四八年、米国は南北統一政府樹立の動きを押しきって南朝鮮だけの総選挙を強行させた。初代李承晩大統領のおと張勉を除いては朴正熙、全斗煥といずれも軍事独裁政権。全斗煥は軍事クーデター政権ですが、日米の歴代政府は韓国の抑圧政治に支援を続けてきました。

## 地底

暑い暑い夏だった。三十八度の記録もあり、最高・平均真夏日・酷暑夜雨量・カラカラ天気と記録づくめの今年の夏もようやくおしまひたかたのようだが、依然として雨は少な残暑はきびしい。

「きびしい」といえば家計も同様。総務庁統計局の家計調査報告によれば、今年上半年(一～六月)の消費支出は、前年同期に比べ実質〇・一%の増でほとんど横ばい。増えたのは公共料金関連で、減ったのは衣・食・住。

「がまた」と「やりくり」の実態がくっきり。こうなつたのも賃上げの横ばい原因となっている。

「猛暑のおかげで売れに売れたのがアイスクリュー。七月、八月は「増産につぐ増産」体制で例年の二割アップとか。清涼飲料水も売り上げ急増で」でも、うれしい悲鳴が聞こえた。かげりが見られたのはビール。値上げがたつたのか、チューハイなどの焼酎ブームの影響か、ビール離れが進んだのは確か。

「反戦・反核の八月。戦争」を映像にした企画が多かつたなかで、庄巻は五、六日に放映(NHK)された「世界の科学者は予見する―核戦争後の地球」だった。放映後の反響も大変なものだったらしい。十代の子どもの声が多かつたとか。この子どもたちにこまできた「核」の心配をさせないことは全ての大人の義務だ。

「クーデターで権力を握り、九州では数千人の学生・市民を虐殺したといわれる韓国の全斗煥大統領が六日に来日する。一般新聞も「朝鮮民主主義人民共和国とわが国との関係の異常さが改めて浮き彫りになる」(朝日)と批判的なものもあるが、ほとんど歓迎調。全斗煥の来日とそのあとに企てられるものに要注意。



八月十四日の団体交渉の様子